

人生100年時代を 生きるために

—心理学はどのように貢献できるのか—

人生100年時代と言われるようになりました。人生100年時代は、現在、高齢期を迎えつつある人ばかりでなく、それを支える全ての年代の人たちにも影響をもたらします。経済的な面から語られることが多い問題ですが、生きがいなど、心の面から考えることも大切です。人生100年時代を迎えるにあたり、心身ともに健康であることの重要性はすべての年代で高まっています。本シンポジウムでは、心理学の視点から人生100年時代を生きるためのヒントを考えます。

2022年

12月10日



13:00-16:00

文教大学 越谷キャンパス
13号館 13101教室

- 一般市民の方
- 生き方に関心のある方
- 心理学に関心のある方

*入場は無料です。予約は不要ですので、直接、会場にお越しください。

総合司会 岡田 斉

13:00	開会 (受付12:30~)
13:00~13:05	【開会挨拶】 布柴 靖枝 (文教大学大学院人間科学研究科長)
13:05~13:15	【企画趣旨の説明】 岡田 斉 (文教大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻長)
13:15~13:55	[話題提供] 「人生100年時代を生きる—先人の生き方に学ぶ—」 講師 文教大学大学院人間科学研究科人間科学専攻教授 益田 勉氏 休憩
13:55~14:05	
14:05~14:45	「高齢者心理学の視点から人生100年時代を考える」 講師 文教大学人間科学部非常勤講師 萩原 裕子氏
14:45~15:25	「人生100年時代の生き方—臨床動作法を通して—」 講師 文教大学名誉教授 今野 義孝氏
15:25~15:35	休憩
15:35~15:55	【質疑応答・討論】 進行 岡田 斉
15:55	【閉会挨拶】 布柴 靖枝
16:00	閉会

主催：文教大学大学院人間科学研究科
後援：越谷市、越谷市教育委員会